

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-①, 観光誘客生活基盤整備事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-3-(12)-7), 担当部署名 (総務課), 事業実施(予定)年度 (平成24年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-1-(1))

事業内容 観光客が増加傾向にある中、自然災害などにおける観光客の安全面を確保する上で情報通信システムが必要である。本事業では、災害時等に観光客や村民への的確な情報の提供をするため防災行政無線設備を整備し、安全確保に努めるため安全安心な基盤整備を推進する。

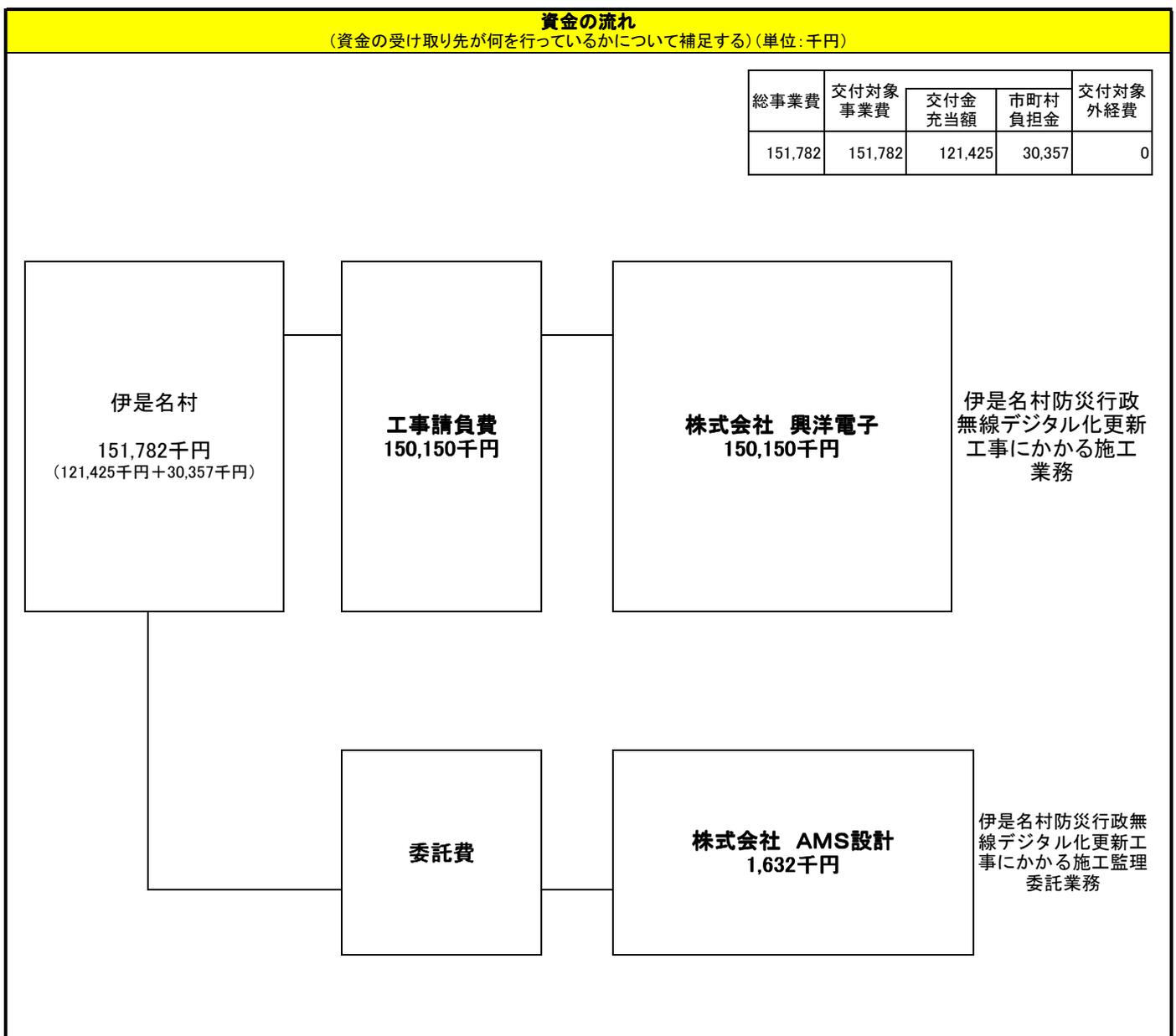
実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()

Table with columns for years (24年度 to 28年度) and rows for budget status (予算の状況) and execution (執行額). Includes rows for (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)前年度繰越額, A.計, B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A).

Table for activity goals (活動目標) and achievement status (達成状況). Includes H24 activity goals (H24活動目標) and achievement status (達成状況) with columns for years 24 to 27. Includes a section for achievement status explanation (達成状況説明).

Table for achievement goals (成果目標) and progress status (進捗状況). Includes H24 achievement goals (H24成果目標) and progress status (進捗状況) with columns for years 24 to 26. Includes a section for progress status explanation (進捗状況説明).

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	戸別受信機の設置と同時に、電波を受信しづらい地域、家屋へは室外用アンテナの取付を行った。しかし、取付には家の造りや条件にもよるが、アンテナ線を内から外へひかなければならず、その際に壁に穴を開けるなどの工程が必要となり、住人から懸念する声の一部がありました。また、島外在住世帯主の方々などへ取付に関して周知することも考えていかなくてはならない。	条件にもよるが、屋内でも場所によっては受信状態がよくなる所もあるので、移動を行い設置場所を変更するなどの措置を行う。
今後の取り組み方針		
設置場所を移動することによって、受信が出来るようになればよいが、改善が見られない場合はアンテナ線の延長をして、通気口などを通して設置を行っていくよう取り組む。できる限りの利用者の要望に応えられるように努める。		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	防災行政無線設備は工事としては頻度が少ない故に、業者の選定においては実績があり、信頼性をより重視し、指名競争入札により決定した。 伊是名村における地形等を考慮したうえで、予算内における最大限の成果をあげ、村内における防災業務に大きな役割を担える設備が整備されたと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-④, 沖縄らしい風景づくり推進事業), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-1-(6)-7), 担当部署名 (総務課), 事業実施(予定)年度 (平成24~25年度), 沖繩振興基本方針該当箇所 (III-1-(1))

事業内容 魅力ある自然や文化・景観等の保全・活用による人と自然が共生する村づくりを推進するため、地域と一体となった魅力的な観光地づくり、地域における景観形成の取組を推進するため景観計画を策定する。

実施方法 ■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円), 予算の状況 (a-d), A. 計 (b+d), B. 執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率 (%), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: H24活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: 伊是名村景観計画検討委員会の開催, 伊是名村景観計画(素案)の作成, 達成状況説明

Table with 7 columns: H24成果目標(指標), 基準値(年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(年度). Rows include: 伊是名村景観計画(素案)の策定, 伊是名村が景観法に基づく景観行政団体に移行, 進捗状況説明

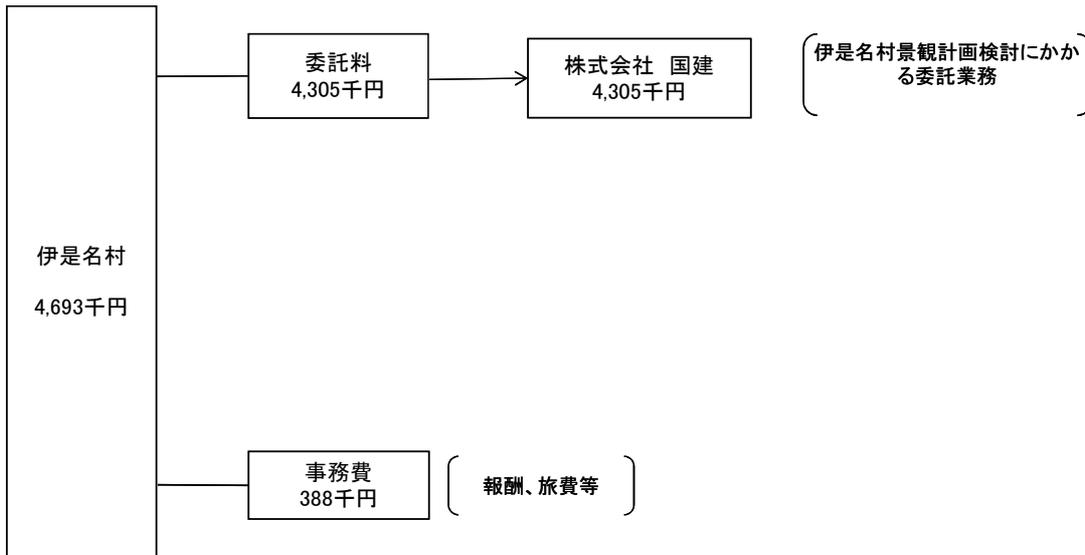
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	住民を巻き込んだ計画策定を念頭に本年度は取り組んだ。検討委員会・住民説明会・景観むらあるきに住民を参加させることができ、協働による計画策定に向けた取り組みが実施できた。少しずつではあるが、住民の景観に対する意識に変化がはじめてきた。景観計画策定にあたっては、景観地区指定に向けた住民側のメリットを示すことが必要となっている。実際、住民説明会で補助制度はあるか質問があり、今後の委員会で議論していかなければならない。	協働による計画策定に取り組んでいるものの、地域全体での取り組みとはなっていない。住民説明会については、全体的に参加者が少なく、また、景観資源の少ない集落においては、さらに参加者が少ない状況である。多くの住民が参加できる工夫が今後必要となる。住民側のメリットについて、たとえば補助制度を実施する際の財源をどう賄うか、景観計画を策定する上で今後さらなる検討が必要。

今後の取り組み方針

平成25年度は、住民側に各集落における景観形成要因をわかりやすく説明し、それを保存・創出するための取り組みを住民が身近に感じることのできる仕掛けが必要である。具体的には、景観フォトコンテストや景観フォーラム等の実施を検討し、住民が興味を持てる景観計画を策定していきたいと考える。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,693	4,693	3,754	939	



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑤	いげな尚円王まつり支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7
----------	-----	---------------	--------------------	--------------

担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)
-------	-------	------------	-----------	--------------	------------------------

事業内容
琉球国王「第二尚氏始祖 尚円王」の生誕地でもある歴史的背景を活用し、尚円王をキーワードに各イベント活動を実施広く県内外に伊是名島の魅力を発信するため「いげな尚円王まつり」を開催し各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラムを実施し、通年をとおして安定的な観光誘客の促進を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	7,340				
	(b) 予算現額	7,340				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	7,340				
	B. 執行済額	7,339				
	うち交付金充当額	5,871				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容は、活動目標の達成状況にもあるとおり実施し、予算執行も適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		いげな尚円王まつりの開催支援	目標 (開催支援) () () () () 実績 開催支援		
達成状況説明	いげな尚円王まつり各催し物として、日中は少年サッカー大会、世代間交流グラウンドゴルフ大会、伊是名島近海沖釣り大会、職域交流ハーリー大会、スカイスポーツ体験、沖縄地区税関巡視艇見学会、乳幼児・児童対象ふわふわバルーン遊具体験などが行われ、尚円王まつり実施要項にもある村民参加型のまつりとして、村民相互の親睦と連携を深める事が出来た。島外来場者ともサッカー大会や沖釣り大会、その他催し物をとおして交流が深められた。また、夜の部では地域の伝統芸能の披露や歌謡ショー、県内活躍ミュージシャンのステージなどで盛り上がり最後は前年度までは予算の都合上1日しか打ち上げることの出来なかった打ち上げ花火を2日間、花火・レーザーショーとして行うことができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
			いげな尚円王まつりの来場者数	目標 () () () () () ()	(1,000名)	() () () ()	(2,300)
		実績		1800名			
	【参考指標】	目標 () () () () () ()					
	実績						

進捗状況説明
 「第13回いげな尚円王まつり」平成24年8月18日・19日開催。島外来場者数は8月16日～19日までの船舶旅客集計表を参照に約1,000名及び本村人口約1600名×0.5=800名 計1800名の祭り来場者

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	「いげな尚円王まつり」と題して祭りを開催しましたが、昼の部の催し物や、夜の部ステージイベントにおいて尚円王をキーワードにした取り組みや、プログラムが少ないとの意見もあった。	まつり運営委員会・専門部会を頻繁に開催し活発な意見交換を行う。また、各市町村の祭りプログラム内容の調査や、イベント企画業者等を招いて本村の尚円王に関わる歴史・文化・自然等にあったプログラム等の計画が必要。
	また、本村の人口から祭りへの来場者数には限りがあり島外来場者のさらなる増加を目指し、本村の観光産業の発展に寄与しなければならない。	
今後の取り組み方針		
平成25年度の取り組みとして、尚円王キャラクター図案があるので、全国的にブームとなっている「ゆるキャラ」制作を行い名前の一般公募、マスコット特別住民票の交付などを計画し「いげな尚円王まつり」としてPRしていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,339	7,339	5,871	1,468	
<pre> graph LR A[伊是名村 7,339千円] --> B[補助金 7,339千円] B --> C[いげな尚円王まつり実行委員会 7,339千円] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名 1-⑦ 赤土等流出防止対策事業 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(7)-カ

担当部署名 農林水産課 事業実施(予定)年度 平成24～25年度 沖縄振興基本方針該当箇所 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 III-1-(1)

事業内容 末端沈砂地で推積している土砂を浚渫することで沈砂地機能の回復を図り、また周辺雑木を除去し、土壌浸食防止のため天端を張りコンクリートすることで機能強化を図り、海域への赤土等流出を抑制する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	13,176			
		(b)予算現額	13,176			
		(c)増減額(b-a)	0			
		(d)前年度繰越額	-			
		A.計(b+d)	13,176			
		B.執行済額	13,175			
		うち交付金充当額	10,539			
		次年度繰越額	0			
		執行率(%) (B/A)	100.0%			
		予算の状況の説明	当初計画どおり実施しており、適正であったと考えている。			

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		・沈砂地に堆積する土砂の浚渫 ・沈砂池周辺の雑木等伐開	目標	(9,750 m ²)	()	()
	実績	9,750 m ²				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	2箇所で9,750m ² ある末端沈砂池の浚渫を実施した。また、周辺雑木の除去と天端の張りコンクリートを併せて実施したことで、沈砂池機能強化が図れた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			・沈砂地に堆積する土砂の浚渫 ・沈砂池周辺の雑木等伐開	目標	()	(9,750m ²)	()
		実績		9,750m ²			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	2箇所で9,750m ² ある末端沈砂池の浚渫を実施した。また、周辺雑木の除去と天端の張りコンクリートを併せて実施し、沈砂池機能強化が図れたことで、美しい自然環境の保全に努めることができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	沈砂池機能強化のため周辺雑木の除去を実施したが、沈砂池周辺のネットフェンスに樹木が絡まり、さらに台風等による強風で、樹木が煽られたことにより、ネットフェンスが倒伏している状況があり、防護柵としての役割が果たされていない、安全性の確保が保たれていない。	倒伏しているネットフェンスは、起こして修繕することで安全性の確保を保つことができるが、修復不可能なネットフェンスは取り外して、安全ロープを張ることで進入防止を図り、安全性の確保に努める。
	今後の取り組み方針	
沈砂池周辺のネットフェンスは安全面から設置されていることから、修復不可能なネットフェンスにおいては取替できるよう事業費に組み込み、沈砂池機能強化と伴に安全性の確保に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	13,175	13,175	10,539	2,636	0
伊是名村 13,175千円	委託料 704千円	(有)パブリックコンサルタンツ 704千円		(数量算出・工事費積算にかかる委託業務)	
	工事請負費 12,471千円	(有)大見開発 12,471千円		(浚渫工事の請負)	
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・委託については、見積による随意契約であったが、6者から見積を徴しており、一定の競争性は確保できているため妥当であったと考えている。 ・工事については、指名競争入札のため適正である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。			

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-7
担当部課名	観光振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				交通・生活コストの低減
				Ⅲ-9

事業内容
 島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送コスト負担軽減を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	7,209				
	(b) 予算現額	7,209				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	7,209				
	B. 執行済額	6,934				
	うち交付金充当額	5,547				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	96.2%				
予算の状況の説明	・当初計画していた事業内容はすべて実施した活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		自動車航送コストの負担軽減台数	目標 (3,500台)	()	()
	実績	4,894台			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・7月から本事業を実施した結果、4,894台と活動目標を上回ることができた。村内住民の交通手段である船舶にて車両航送負担軽減行って定期的な医療等の通院や教育関係の大会など気兼ねなく本島との行き来ができるようになり村内住民のコスト負担軽減に繋がったと考える。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		自動車航送コストの負担軽減台数	()	(3,500台)	()	()
		目標	()	()	()	()
		実績		4,894台		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	・村内住民の唯一の交通手段の船舶での車両航送負担軽減行って医療通院及び教育関係の大会など気兼ねなく本島との行き来ができるようになり村内住民のコスト負担軽減につながっている。今後も本事業活用して4,000台以上目標に推進を図る。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	土日、祝祭日になると、沖縄本島へ出かける村内住民が増え、乗客・自動車航送発券所が混雑し船の運航時刻に何度か支障をきたした事がある。	コスト負担軽減申請書を乗船チケット購入時に提出しなければならないが、発券所前にて申請書に記入する住民が多数おり、時間のロスに繋がることから事前に申請書を記載の上、チケットを購入するよう指導する。
	今後の取り組み方針	
<p>土日、祝祭日、大型連休があり村民の乗船が多数見込まれる場合には、前日から村内防災放送無線にて「ニューいげな」運航30分前までにはチケット購入するよう周知するほか、チケット発券所の職員の増員を計画。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	29,176	6,934	5,547	1,387	22,242
<pre> graph LR A[伊是名村 6,934千円] --> B[補助金 (船舶運航事業特別会計) 6,934千円] B --> C[住民車両航送 6,934千円] C --- D["(3m~5m未満の航送車両の補助)"] </pre>					

資金の用途の流れ、費目・費目の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	妊婦健診渡航費助成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ
担当部署名	住民福祉課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上
				Ⅲ-9

事業内容
 村内には、専門の産科医がなく本島の医療機関の利用を余儀なくされている。加えて、1泊2日の日数と経済的負担も大きい。そのような妊婦の保健指導の充実と安心で安全な出産を支援することを目指し、通院に要する渡航費・宿泊費を助成する。また、出産待機のため滞在了場合は1日3,000円の助成をする。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	469			
		(b) 予算現額	469			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 前年度繰越額	—			
		A. 計 (b+d)	469			
		B. 執行済額	369			
		うち交付金充当額	295			
		次年度繰越額	0			
		執行率 (%) (B/A)	78.7%			
		予算の状況の説明	予算執行の不要率があるのは、受診件数及び宿泊費の利用者が目標を下回ったのが要因である。			

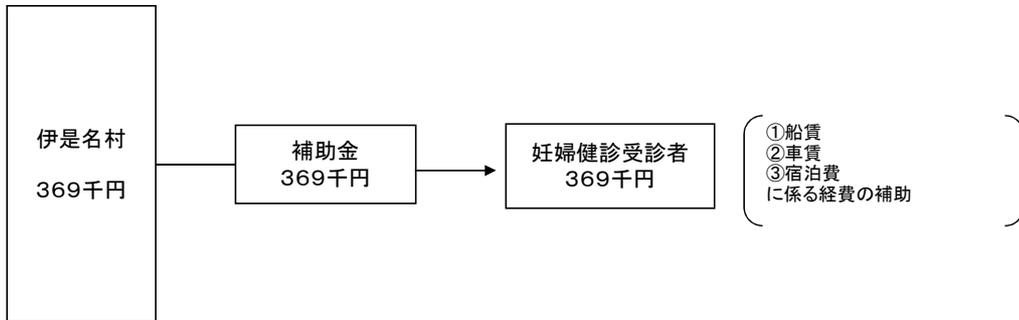
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		・妊婦健康診査のために島外に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成	目標	(助成の実施)	()	()
	実績	助成の実施(52件)				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	妊婦健診渡航費助成を実施した結果、52件申請があり経済的負担の支援が行えた。しかし、宿泊費の利用が少なく本事業を活用して頂くためにも、今後さらに事業の啓蒙を図る必要がある。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		・妊婦健康診査のために島外に通院する妊婦への渡航費・宿泊費の助成	目標	(助成の実施)	()	()
		実績	助成の実施(52件)			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	公費で妊婦健診事業が実施されて、更にはそれに伴う渡航費等の助成も実施されて妊婦世帯への経済的負担の軽減が図られている。滞在費用を利用した妊婦が1名いた。また、申請のため窓口に来ることで妊婦の行う保健指導の機会が増えた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①車賃の助成により交通費負担がかなり軽減されている。 ②安全面と移動時の利便から車を利用する妊婦が多い。	今後の検討・・・①自動車航送料の助成 ②付き添いに対する支援
	今後の取り組み方針	
<p>妊婦健診時の通院手段として安全性及び利便性から、自家用車を利用する妊婦が多い。しかしながらその経費は家計の大きな負担となっているのが現状である。よって、今後においては、自動車の航送料の負担軽減も検討しなければならない。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
369	369	295	74	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	医療機関の受診証明書及び船の領収書等の添付で申請しているの適正に支出している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名 2-③ 人工透析医療受給者助成事業 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(11)-イ

担当部署名 住民福祉課 事業実施(予定)年度 平成24~33年度 沖縄振興基本方針該当箇所 III-9

事業内容 本村は、離島村であるため専門医療施設がないことから、人工透析医療を受ける患者の通院の環境整備を図るため、通院に係る交通費及び宿泊費を助成する。

実施方法 □直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()

Table with columns for years (24-28) and rows for budget/execution status (a-d, A, B, etc.) and a summary row for budget status explanation.

Table for activity goals (H24 activity goals) with columns for years and rows for target/actual performance.

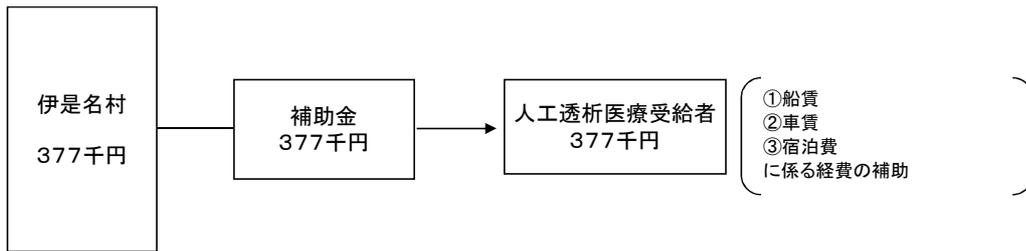
Table for achievement goals (H24 achievement goals) with columns for years and rows for target/actual performance.

進捗状況説明 ※人工透析医療受給者に本事業の説明を行い助成の実施したことにより、2名の受給者が本事業を活用し(船賃・交通費・宿泊費)経済的な不安の解消が図られている。しかし1名の方が本事業を活用されていないため説明等をし活用促進に繋げたい。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	離島村である為、人工透析の治療は島外の医療機関で行わなければならない、そのため日帰りは不可能。治療目的の為に賃貸アパートの部屋代を助成することが可能か協議する。	隣村や、遠方の離島村で同事業の実施に伴う助成を行っている事例があるか確認、及び本村での実施が可能であるか協議する。
	今後の取り組み方針	
更なる事業促進により、人工透析治療患者の負担を軽減することで、治療に専念することができ、また移動により心身的疲労も軽減することができる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
377	377	301	76	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	伊是名村人材育成推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア			
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	幼稚園、小学校、中学校の教育の質を高め学校教育を充実発展させるために教育指導コーディネーターを配置し、時代を担う児童生徒の人材育成に寄与する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,200				
		(b) 予算現額	1,200				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		1,200				
	B. 執行済額		1,200				
	うち交付金充当額		960				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初の計画どおり執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・教育コーディネーターの配置	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・学校計画訪問や要請訪問による指導助言や各種研修会を開催した。 ・統一テーマに基づく幼小中教職員の合同研修会を開催し教師の質に努めた。 ・村営塾を開催し、直接児童生徒へ学習指導を行い学力向上に寄与した。 ・職場体験等の場の拡大を図り、児童生徒の就労意識の向上に努めた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	・教育コーディネーターの配置	目標	()	(1人)	()	()	()
		実績		1人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上は児童生徒の学力向上に結びつくことから、教師に対しての研修、指導及び情報提供など学校教育の充実発展を図る取組を行った。 ・保護者等からの相談に応じて指導助言を行った。 ・村営塾を開設することにより、児童生徒の学習意欲が高まり学力の向上に寄与した。 ・島外にまで職場体験の場を拡大することにより、勤労観・職業観が身につく、将来の目標を明確に持つことができた。 					

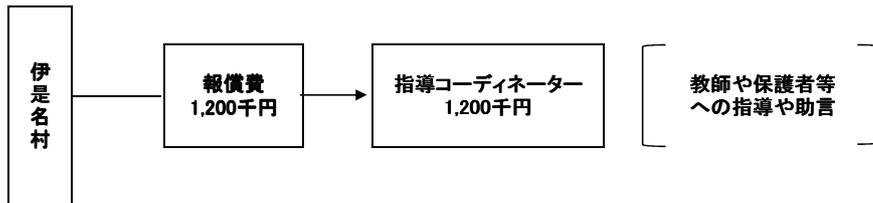
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・今日では学校教育だけでは問題解決を図ることが難しく、保護者等からも教育コーディネーターへの関心が強いことから、行政部局との連携を強めながら地域とも協働しながら推進して行く必要性を感じた。 ・児童生徒の学習意欲の向上と最後まであきらめずに努力し続ける忍耐力を身に付けさせる必要がある。 ・狭い島内に居て、職業の種類をあまり多く知らないため職業選択の幅が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師はどう関わっていくべきか、今の時代ならではの新しい考え方、発想を出し合い、そして実践していく研修の場を提供し、その成果の情報を交換、共有し指導力向上に結びつけてく。 ・児童生徒の学習意欲を喚起し、努力し続けることの大切さを感じさせる場や機会を充実させる必要がある。 ・職種やその業務内容を多く知らせることにより自分に合った職業選択ができるようにする。

今後の取り組み方針

・教員の指導力向上のため、教員個別の実態に応じたコーディネーターの指導の内容・方法の工夫等を行っていく必要がある。
 ・村営塾の充実を図るため、指導力のある講師の確保に努めたい。
 ・島外の職場体験受入事業所の拡充をに取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,200	1,200	960	240	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業目的達成の観点から確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-② 人材育成事業), 事業実施(予定)年度 (平成24~33年度), 沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所, 沖繩振興基本方針該当箇所. Includes 第3章-5-(3)-1 and III-3-(1).

事業内容 生まれ育った島の良さを再発見させ島への思いを醸成するため、日頃体験することのない厳しい環境のもとでの日高小学校との交流やスキー体験などを実施する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include 予算額・執行額 (単位:千円) with sub-rows (a) through (d), A. 計, B. 執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率 (%), and 予算の状況の説明.

Table with 5 columns: H24活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Includes 達成状況 and 達成状況説明 (両校の交流会を通じお互いの地域及び伝統文化(エイサー・太鼓等)の紹介やスポーツレクを通し交流を深め北国の気候や文化、生活を直接体験し自分たちの地域について改めて見つめなおしたものとする。)

Table with 7 columns: H24成果目標(指標), 基準値(年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(年度). Includes 進捗状況説明 (北海道日高小学校と沖縄県伊是名小学校との交流事業は平成24年度で19回を数え、生活環境、文化違いを経験し、相互理解と互いの理解を深めた。)

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業については、当初の目的及び目標はおおよそ達成できた物と思う。しかし、現地での段取り等については、北海道と沖縄で遠距離のため日高の関係者、旅行社、伊是名村との入念な打合せ等の実施しなければならない。	・事業目的及び目標に沿ったマニュアルを作成し実施していきたい。
今後の取り組み方針		
少年の翼(日高小との交流事業)の当初の目的・ねらいに沿った形で今後も取り組んでいきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,903	1,903	1,522	381	
<pre> graph LR A[伊是名村 1,903千円] --> B[負担補助及び交付金 1,903千円] B --> C[日高小との交流 1,903千円] C --- D["(児童数:23人 引率者: 6人)"] </pre>					

資金の 用途の流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊是名村

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-③ 児童生徒島外諸教育活動支援事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第3章-5-(2)-7 教育機会の拡充), 担当部課名 (教育振興課), 事業実施(予定)年度 (平成24~33年度), 沖縄振興基本方針該当箇所 (III-3-(1))

事業内容 児童生徒の島外での諸教育活動への参加のための交通費、宿泊費の支援を行う。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度. Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円) (「交付金」+「市町村負担」ベース), (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)前年度繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明 (不要額が81千円発生しているが、達成状況から適正であると考えている。)

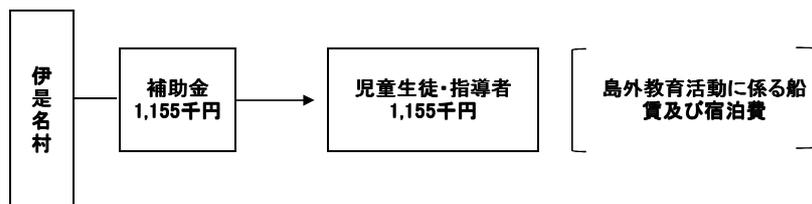
Table with 5 columns: H24活動目標(指標), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: 達成状況 (達成状況説明: 児童生徒及び指導者が島外での教育活動参加のため、離島に限って発生する経費(船賃、宿泊費)を補助することで負担軽減が図られた。大会等参加回数計17回。), 活動目標(指標)及び達成状況 (各種教育活動に参加する児童生徒の交通費、宿泊費の補助)

Table with 7 columns: H24成果目標(指標), 基準値(年度), 24年度, 25年度, 26年度, 目標値(年度). Rows include: 成果目標(指標)及び進捗状況 (島外教育活動への派遣児童生徒数: 278人), 進捗状況説明 (事業化された事により経費軽減が図られ、これまで以上に大会に参加することができ、派遣生徒数も増えた。)

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・事業がスムーズに推進することができたが、もっと多くの大会参加が望まれた。</p>	<p>実戦を少しでも数多くこなして技術の向上や精神面の鍛錬のため、多くの大会に参加ができるよう検討していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業は、保護者の負担軽減が図られるとともに児童生徒が島外での実戦を数多く積むことで競技力の向上に繋がり、運動部活動に意欲的に取り組む姿勢が育まれ児童生徒の健全な育成が図れると考えられる。よって、今後も継続し実施していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,155	1,155	923	232	



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・用途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	小学校社会科副読本編纂事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア
----------	-----	---------------	--------------------	-------------

担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-3-(1)
-------	-------	------------	--------	--------------	-----------

事業内容
 次代を担う児童が島の自然や産業について深く学習するための社会科副読本を編纂し、それを活用し学習することで島への思いが醸成され人材育成が図られる。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	2,050				
	(b) 予算現額	2,050				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	2,050				
	B. 執行済額	2,048				
	うち交付金充当額	1,638				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	99.9%				
予算の状況の説明	・当初計画していた内容以上に完成度が高く、執行も適正であった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		・社会科副読本の作成	目標 (250冊)	()	()
	実績	200冊			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・当初250冊(25冊×10年分)を予定していたが、児童数が減少傾向にあるため冊数を見直し、200冊(20冊×10年分)に減じたため目標を達成できなかった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		・社会科副読本の作成	目標 ()	(250冊)	()	()
		実績	200冊			
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	・当初250冊(25冊×10年分)を予定していたが、児童数が減少傾向にあるため冊数を見直し、その分、写真等をリニューアルし、挿入キャラクターも親しみやすいものに替え、また、会話や問答式により児童が活用しやすい構成を図り、200冊(20冊×10年分)に減じた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習要領に基づく内容の一新並びにデータや写真等のリニューアルや挿入キャラクターを親しみやすいものに替え、会話や問答式により児童が活用しやすい構成を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ村内にある施設などの写真を多用することにより、もっと身近に感じられる副読本として更なる質の向上を高めていく。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・次回の改定までに写真など日頃から資料等の収集に努め、時代にあった副読本として作成して行くこととする。 ・次回学習要領の改定が行われるまでは10年程、この副読本を活用するもとする。 		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,048	2,048	1,638	410	

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑤	学習支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア
----------	-----	-----------	--------------------	-------------

担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)
-------	-------	------------	-----------	--------------	-----------------------------

事業内容
学校の教育活動支援及び学習に遅れのある児童生徒の学習支援を行う。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	256			
		(b) 予算現額	256			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 前年度繰越額	—			
		A. 計 (b+d)	256			
		B. 執行済額	71			
		うち交付金充当額	56			
		次年度繰越額	0			
		執行率 (%) (B/A)	27.7%			
		予算の状況の説明	事業承認の遅れ及び勤務日数が減ったため、予算執行率が低くなった。			

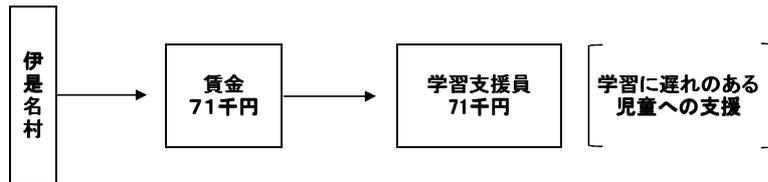
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		・学習支援員の配置数	目標	(1名)	()	()
		実績	1名			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	学習に遅れのある児童の支援を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			・学習支援員の配置数	目標	()	(1名)	()
			実績		1名		
	【参考指標】	目標	()	(2名)	()	()	()
	・支援児童生徒数	実績		2名			
進捗状況説明	・2名の個々に応じた支援をすることで理解度が深まった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域の人材不足により、支援員を確保するのが難しい。	広く、島外まで支援員を募集し、人員の確保に努める必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>学習内容が十分理解できない児童及び行動に問題のある児童等への支援は、学級の落ち着きが図られ学習環境がよくなることから支援の配置は今後においても継続していきたいと考える。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
71	71	56	15	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・予算規模については年度当初から早めの配置を行う必要があった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑥	幼稚園預かり支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5
----------	-----	------------	--------------------	-------

担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様な能力を發揮し、未来を拓く島を目指して Ⅲ-3-(1)
-------	-------	------------	-----------	--------------	----------------------------------

事業内容
幼稚園教育の基本を踏まえ、地域の実情により幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を雇用する。教育課程に係る教育時間終了後において、保護者が安心して仕事ができる環境整備が必要である。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	238			
		(b) 予算現額	238			
		(c) 増減額 (b-a)	0			
		(d) 前年度繰越額	—			
		A. 計 (b+d)	238			
		B. 執行済額	177			
		うち交付金充当額	141			
		次年度繰越額	0			
		執行率 (%) (B/A)	74.4%			
		予算の状況の説明	12月の交付決定に伴い幼稚園の休みの期間等に重なり執行ができなかった。しかし事業計画していた事業内容は実施できており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。			

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		・保育士の雇用数	目標 (1名)	()	()
	実績 (1名)				
	目標 ()	()	()	()	
	実績				
達成状況説明	幼稚園教育の基本を踏まえ、地域の実情により幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を1名雇用した。教育課程に係る教育時間終了後において、毎月約13名～14名(園児総数15名)の幼児の預かり保育を行い、保護者が安心して仕事ができる環境整備ができた。				

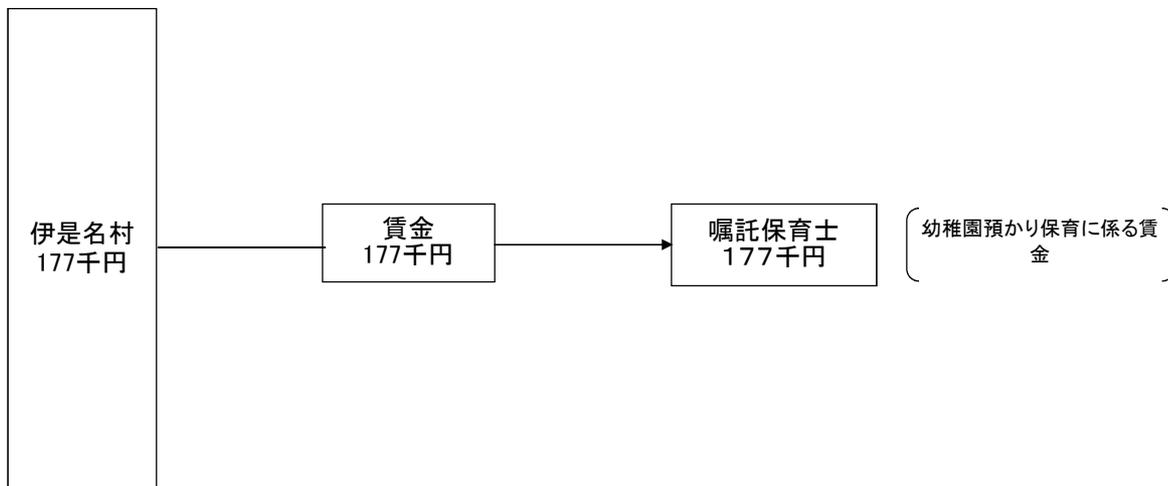
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			・預かり保育を利用する幼児数	目標 (15名)	()	()
			実績 (13名)			
		【参考指標】	目標 ()	()	()	()
	実績					

進捗状況説明
 幼児総数15名の内、月平均13名の幼児が預かり保育を利用した。今年度も、引き続き預かり保育が必要で有り、多くの利用者が見込まれる。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・共働きの保護者が多く、教育課程に係る教育時間以後、幼児の面倒を見ることが出来ない上に、当村には学童保育等がない。</p>	<p>・当村の実情より、預かり保育の実施が必要であると考え。そしてその為には保育士の雇用も必要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>幼稚園教育の基本を踏まえ、地域の実情により幼稚園預かり保育の強化として嘱託保育士を雇用する。教育課程に係る教育時間終了後において、保護者が安心して仕事ができる環境整備を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
177	177	141	36	



資金の流 れ、費目 ・ 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先、予算規模共に実績から見て妥当であったと考えられる。</p> <p>○費目・使途も関係書類の確認及び実績から見て、事業目的に即し真に限定されていると考えられる。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4	伊是名村土づくり支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	亜熱帯性気候等を活かした農林水産業の振興
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容
 肉用繁殖牛の減少に伴う堆肥の原料不足を補うため、沖縄本島からの堆肥原料購入費用及び輸送費用を助成することにより、安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上を目指す。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	6,197				
	(b) 予算現額	6,197				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	6,197				
	B. 執行済額	6,195				
	うち交付金充当額	4,956				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	計画どおり執行されており、適正であると考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		農家補助用堆肥の確保	目標	(1,000t)	()	()
	実績	1,000t				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	本部町にある牧場から堆肥原料を確保し、計画どおり1,000tの堆肥原料を導入した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		農家補助用堆肥の確保	目標	()	(1,000t)	()	()
		実績	/	1,000t			/
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
進捗状況説明	計画どおり1,000tの堆肥原料を導入した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1,000tの堆肥原料を導入したが、年度末までには、ほ場に散布できていない。堆肥原料の導入補助のため、必ずしも年度内にほ場に散布しなければならないとは思えないが、土づくりの促進による農作物生産性の向上が目的であるため、導入した堆肥はできるだけ早く散布する必要がある。導入している堆肥は原料であり、完熟堆肥ではないため、発酵させる期間を考慮しなければならない。	事業実施を早めに遂行し、ほ場内まで堆肥が行き渡るように、年内までに導入するよう努める。また、ほ場内に堆肥を導入する時期は、大半がさとうきび畑のため、夏植え前の6月から8月、春植え前の2月から4月に集中する。堆肥はマニュアルスプレッダによる散布であるが、村内に3台しかないことから、全ほ場内に散布するには日数を要するため、散布機械を導入し、効率化を図ることを検討する。

今後の取り組み方針

今年度は12月までに堆肥原料を導入し、春植えほ場及び株出しほ場を中心に3月までに散布できるよう努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,195	6,195	4,956	1,239	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	